

令和6年度北九州市
地域福祉に関する市民意識調査結果
概要版

○調査概要

- 実施目的：次期地域福祉計画策定にあたっての基礎資料とするため、市民の地域福祉に関する意識及びニーズを調査
- 実施期間：令和6年12月16日～令和7年1月15日
- 調査対象：市内在住の20歳以上 6,000人（無作為抽出）
- 調査方法：調査対象者宛てに郵送にて調査票発送
回答は郵送またはオンライン
- 調査項目：地域での関係性、地域福祉活動への参画、生活状況、福祉サービスの利用（全31問）

○調査結果

- 回答数：1,638件（うちオンライン回答697件）
- 有効回答率：27.3%

表１：年代

全体	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75以上	無回答
1,638	90	108	106	135	94	90	103	104	106	120	159	409	14
100%	5.5%	6.6%	6.5%	8.2%	5.7%	5.5%	6.3%	6.3%	6.5%	7.3%	9.7%	25.0%	0.9%

表２：性別

全体	男性	女性	選べない・ 答えたくない	無回答
1,638	666	943	12	17
100%	40.7%	57.6%	0.7%	1.0%

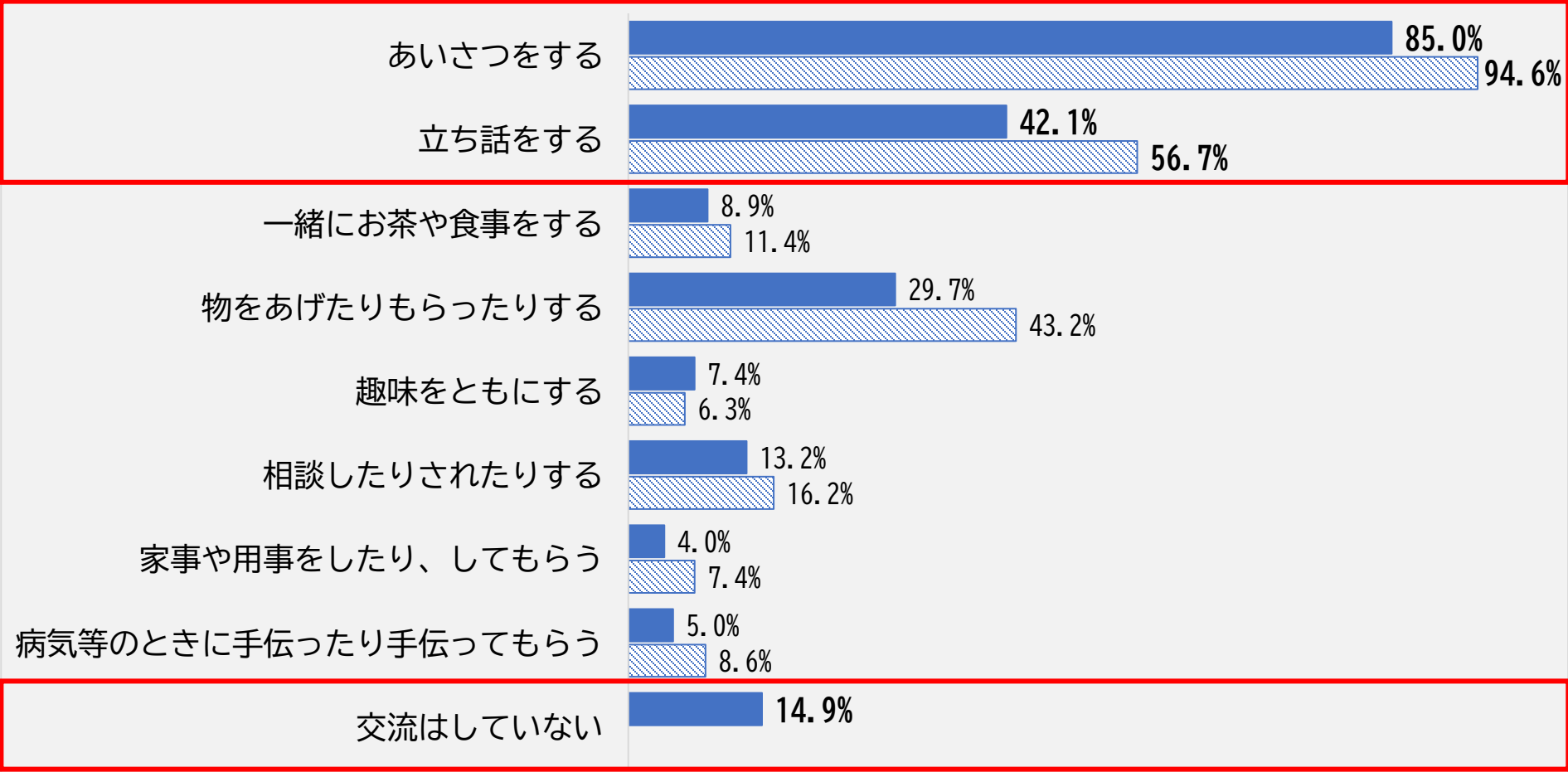
表３：居住区

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
1,638	167	304	351	132	117	464	91	12
100%	10.2%	18.6%	21.4%	8.1%	7.1%	28.3%	5.6%	0.7%

問2 住んでいる地域で行っている交流はどれか（複数回答）

- 地域での交流は、「あいさつを交わす」が最も多く85.0%、次いで「立ち話をする」が42.1%であった。
- 「交流はしていない」と回答した人は14.9%と、4番目に多い結果となった。
- 前回調査（令和元年度）結果と比較すると、「趣味をともにする」を除くすべての項目で3ポイント～14ポイント減少するなど、地域での交流の希薄化が見られた。

図1：住んでいる地域で行っている交流

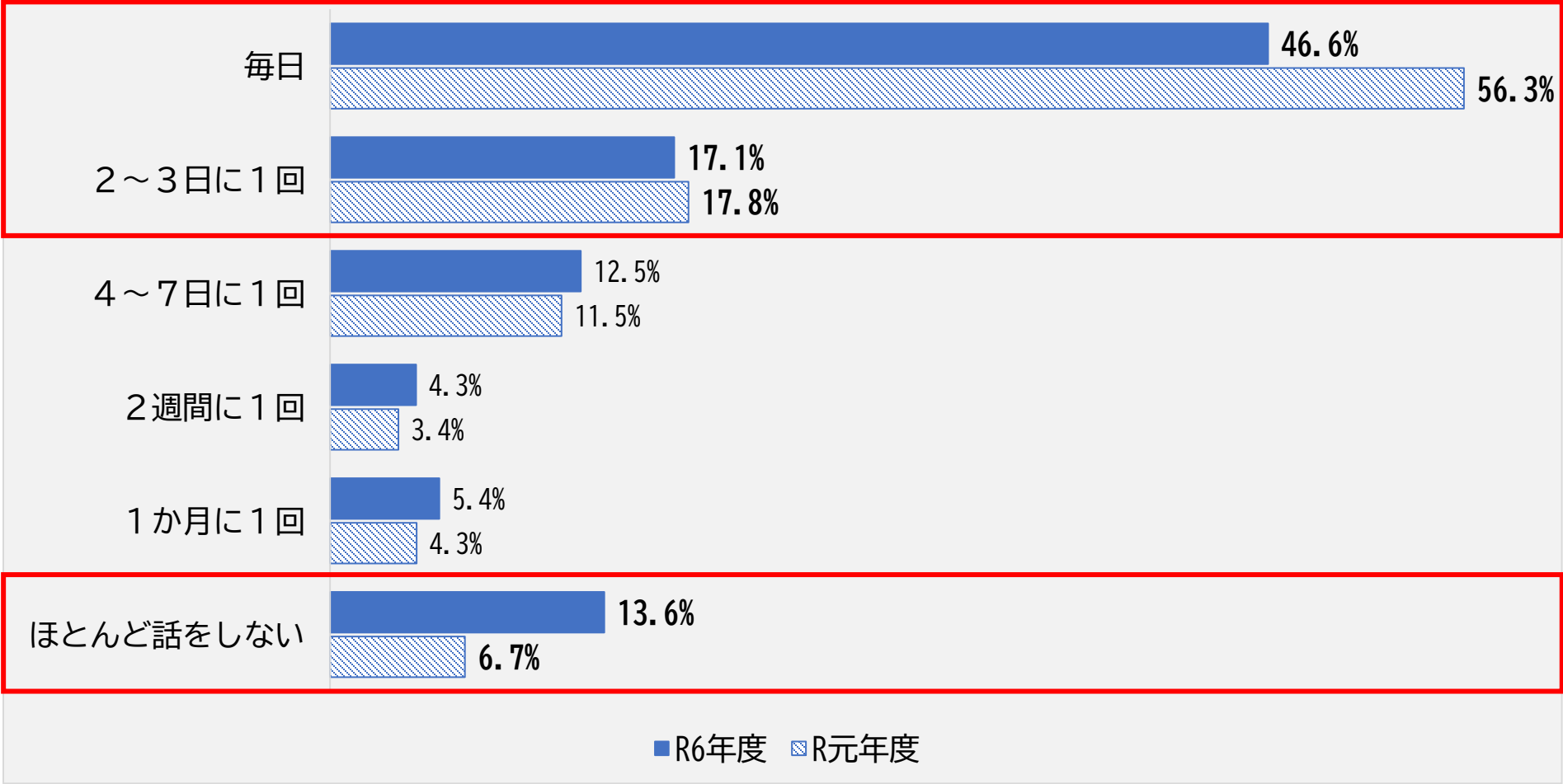


■ R6年度 ■ R元年度

問3 普段どの程度、人と会話や世間話をするか

- 毎日と回答した人が最も多い46.6%、次いで2～3日が17.1%であった。
- 一方で、13.6%は、ほとんど話をしないと回答した。
- 前回調査結果と比較して、毎日会話や世間話をする人は9.7ポイント減少した一方で、ほとんど話をしない人は6.9ポイント増加しており、地域での交流の希薄化が見られた。

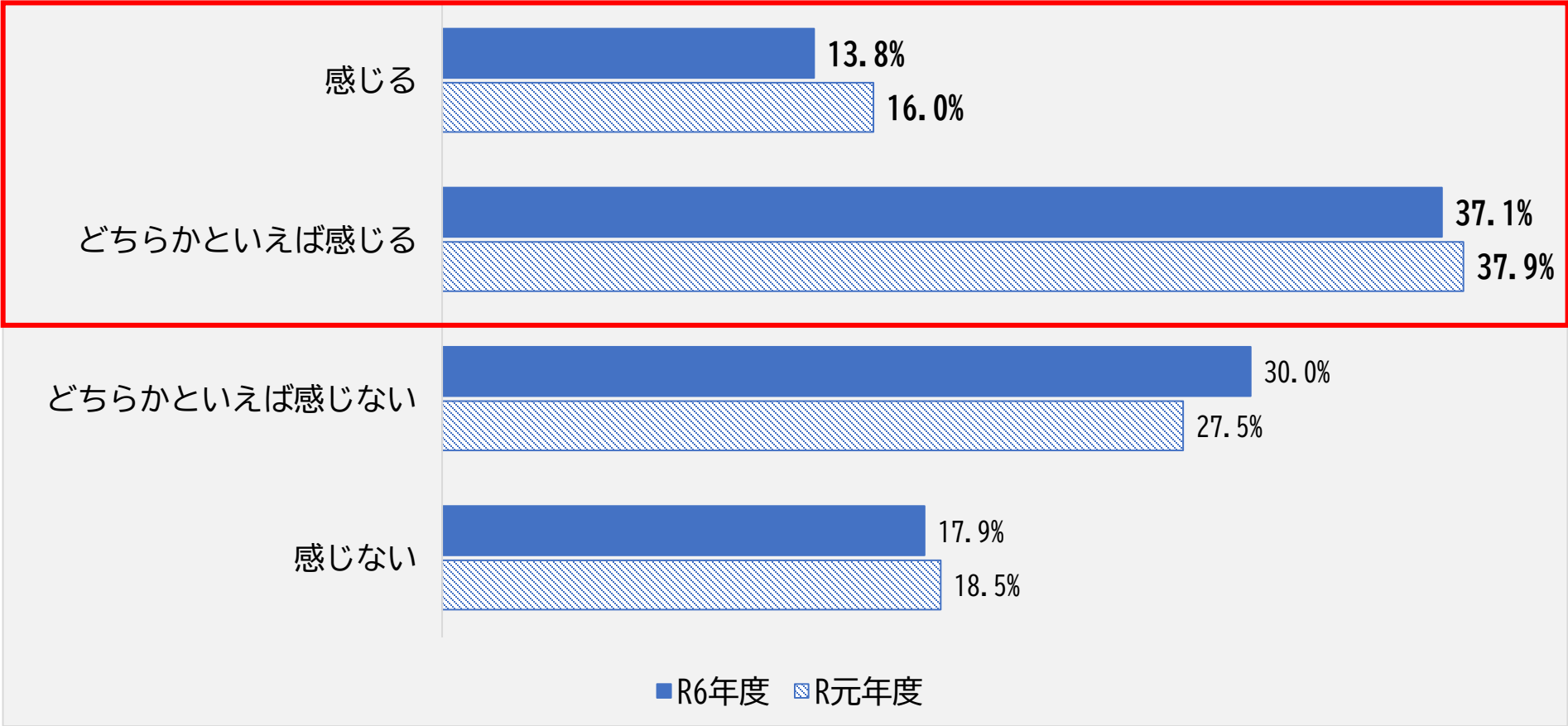
図2：人と会話や世間話をする頻度



問7 住んでいる地域で近所の人同士の「つながり」や「支え合い」を感じるか

- 感じる・どちらかといえば感じると回答した人の合計は50.9%で、どちらかといえば感じない・感じないと回答した人の合計47.9%を上回った。
- 前回調査結果と比較して、感じる・どちらかといえば感じると回答した人は合計で3ポイント減とやや減少する結果となった。

図3：住んでいる地域で「つながり」「支え合い」を感じるか



問9 頼りたいときに頼れる人はいるか（複数回答）

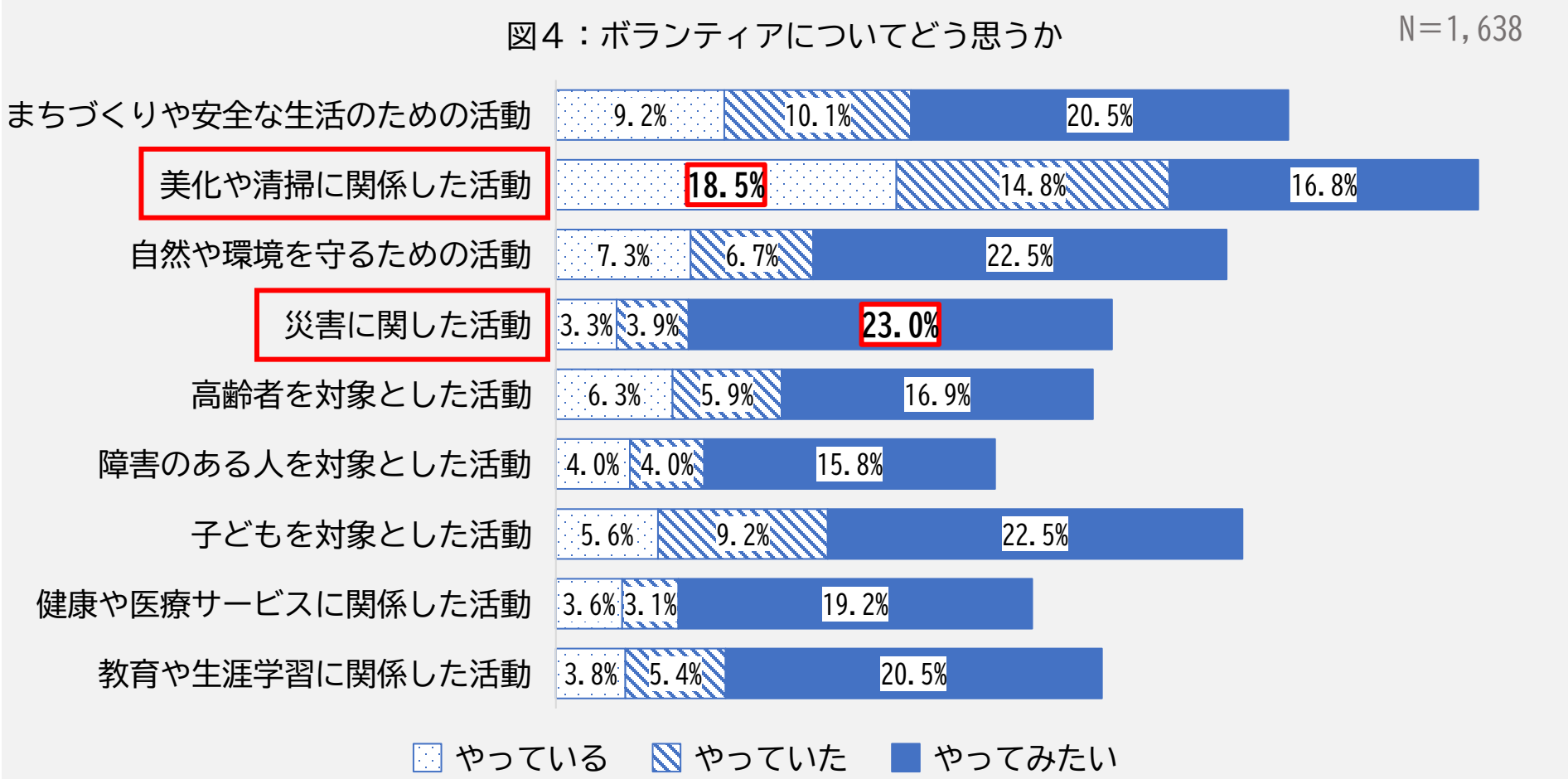
■どの項目についても、「家族・親族」と回答した人が最も多く、次いで、「友人・知人」、「頼れる人はいない」、「人に頼らない」と回答した人が多かった。

表4：頼りたいときに頼れる人 N=1,638

	頼れる人がいる									いない	人に頼らない	無回答
	家族親族	友人知人	近所の人	職場の人	民生委員等	福祉関係者	マンション管理人	オンラインの知人	その他			
子どもの世話や看病	56.1%	12.1%	3.0%	2.9%	1.0%	1.3%	0.1%	0.4%	0.3%	17.1%	10.1%	15.1%
子ども以外の介護や看病	55.4%	5.3%	1.8%	1.0%	1.5%	10.6%	0.1%	0.1%	1.2%	19.0%	7.0%	11.7%
重要な事からの相談	78.1%	30.4%	1.6%	8.5%	1.3%	2.4%	0.2%	0.5%	1.4%	6.2%	4.8%	4.8%
愚痴を聞いてくれること	64.5%	55.1%	4.3%	18.5%	0.4%	1.3%	0.1%	1.6%	1.0%	4.9%	4.4%	6.5%
感情を分かち合うこと	79.8%	51.3%	4.9%	14.4%	0.3%	0.8%	0.0%	1.4%	1.2%	3.9%	2.4%	5.5%
いざというときのお金の援助	66.4%	3.8%	0.2%	0.7%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	1.0%	9.3%	15.3%	7.4%
洗濯・掃除などの手助け	60.0%	6.7%	6.5%	0.9%	0.3%	1.1%	0.5%	0.1%	0.3%	9.8%	16.1%	8.1%
家を借りる時の保証人	66.4%	3.0%	0.2%	0.5%	0.1%	0.3%	0.0%	0.1%	0.4%	8.9%	11.4%	12.1%
成年後見人・保佐人・補助人	57.6%	2.8%	0.4%	0.2%	0.5%	1.2%	0.0%	0.1%	1.0%	16.0%	11.7%	12.7%
災害時の安否確認や避難介助	73.7%	25.2%	14.7%	10.1%	1.8%	1.2%	0.5%	0.3%	0.9%	9.3%	2.6%	7.8%

問10 様々なボランティアについてどう思うか（複数回答）

■やっている・やっていたボランティアとしては、「美化や清掃に関係した活動」が最も多く、やってみたい活動は「災害に関する活動」が最も多かった。



（参考）令和元年度調査結果

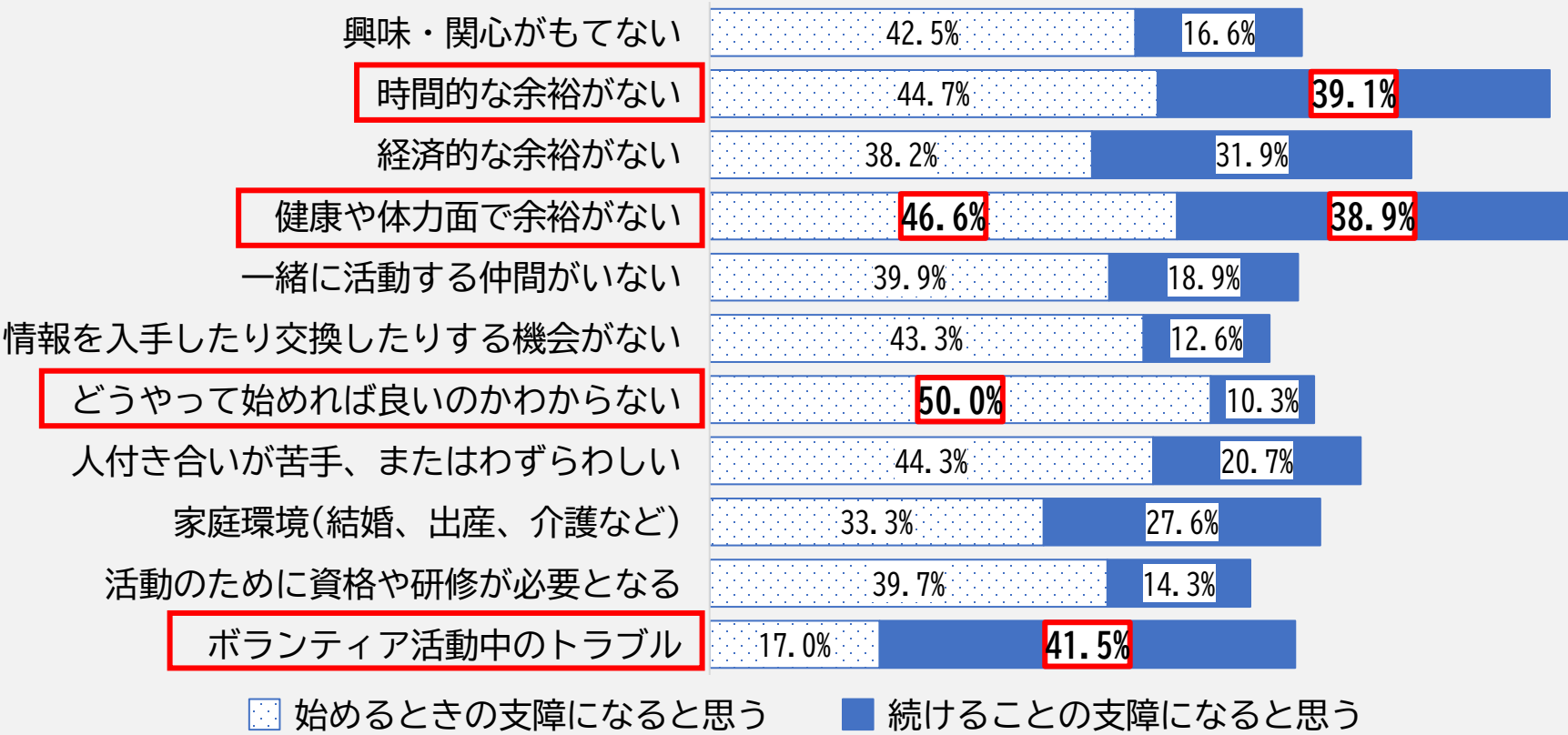
■ やっているボランティアでは、「美化や清掃に関係した活動」が14.5%で最も多く、やってみたいボランティアでは、「自然や環境を守るための活動」が24.8%と最も多かった。

問11 どのようなことがボランティアの支障になると思うか（複数回答）

- 始めることの支障は、「どうやって始めればよいのか分からない」、「健康や体力面で余裕がない」が多く、続けることの支障は、「活動中のトラブル」や「時間・健康・体力面での余裕がない」が多かった。
- 前回調査結果と比較すると、各項目について大きな変化はなかったものの、令和6年度調査では「どうやって始めればよいのか分からない」と回答した人が最も多くなっていることから、活動の情報発信が課題となっている。

図5：ボランティアの支障になると思うこと

N=1,638



(参考) 令和元年度調査結果

- 始めるときの支障は、「時間的な余裕がない」、「人付き合いが苦手またはわずらわしい」が多く、5割程度であった。続けることの支障は、「時間的な余裕がない」が最も多かった。

問16 自分や家族のことについて困っていると感じることは何か（複数回答）

- 「健康のこと」、「介護のこと」については、40%以上の人将来が不安と回答し、10%以上の人「健康のこと」、「経済的なこと」について現在困っていると回答した。

図6：自分や家族について困っていると感じること

N=1,638

